

高岡キャンパスにおける情報教育

芸術文化学部 准教授(総合情報基盤センター業務主任) 藤田 徹也

1. 情報システムの概要

高岡キャンパスの情報システムは、旧高岡短期大学の情報システムを受け継いで構成されている。インターネット接続、LAN、教育用情報システムが最初に整備されたのは 1995 (H7)年である。基幹ネットワークは 2002 (H14)年にギガビットネットワークとして更新され現在のネットワーク構成が確立した。2004(H16)年には遠隔双方向教育システムのために基幹ネットワークを増強し、さらに 2006(H18)年に三大学統合による情報システム一体化のため大幅な機器導入及び設定変更を行い現在に至っている。

現在の情報システムの概略図を図1に示す。高岡キャンパスは学生数 500 名、教職員 100 名オーダーの小規模なキャンパスであり、フロアスイッチの設置単位となる棟も 7 棟(現状)であることから、ネットワークは極めてシンプルな構成となっている。現在は五幅キャンパスと 1Gbps の回線で常時接続され、前述の通り富山大学情報システムのサブシステムとして稼働している。

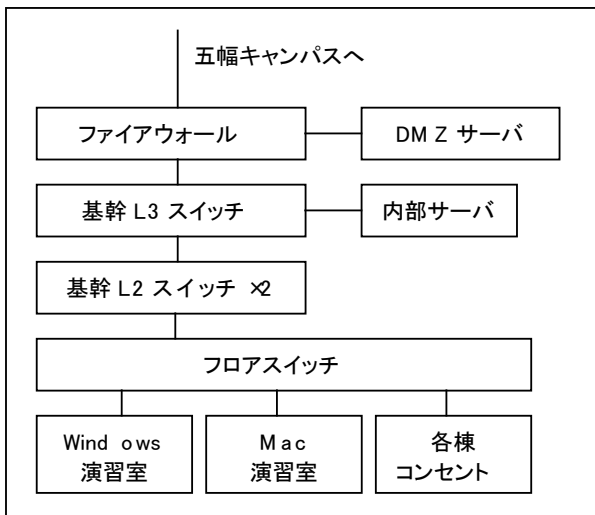


図1 高岡キャンパス情報システム概略図

2. 情報教育の現状

芸術文化学部(高岡短期大学部)では、情報を表現する手段としてのコンピュータ利用を重視しており、現在、多くの授業で活用されている。特にコンピュータの活用を中心とする授業は、主として Windows 端末演習室(メディアルーム)と Macintosh 端末演習室(CG ルーム)の二つの演習室において実施されている(図2 参照)。



(a)メディアルーム(Windows 端末演習室)



(b)CG ルーム(Machintosh 端末演習室)

図2 教育用情報システム演習室

具体的な授業科目例は、以下の通りである。これらは芸術文化学部1・2年生に対して開設されて科目であり、今後学年が進行するとともに増加する。

- (1)基礎教育科目(リテラシー科目)
 - 「情報処理入門」
 - 「EUCによる情報処理入門」
 - 「コンピュータによるデザイン入門」
- (2)教養教育科目
 - 「造形のための数学入門」
 - 「インターネットの仕組み」
- (3)学部共通科目
 - 「高齢化社会の情報文化」
 - 「メディアアート基礎」
 - 「ビジュアル基礎演習」
 - 「UNIXとプログラミングの基礎」
 - 「デザインプレゼンテーション」
- (4)基幹科目
 - 「コンピュータによるデザイン演習」
 - 「Web基礎演習」
 - 「CADを用いた家具設計の基礎」
 - 「シンボルデザイン演習」
 - 「インタラクティブアート基礎演習」
 - 「ビジュアルコミュニケーション演習A」

これらの授業は、アプリケーションの活用を前提としているものが多く、その選択は教育上重要な意味を持つと考えている。現在、高岡キャンパスに導入されている主なアプリケーションは以下の通りである。

- ・情報リテラシー
 - Microsoft Office, Firefox, FFFTP
- ・画像処理(2D), DTP
 - Adobe Illustrator, Adobe Photoshop,
 - Adobe InDesign
- ・Web
 - Adobe DreamWeaver
- ・インタラクティブ
 - Adobe Flash, Lego Mindstorms NXT
- ・CAD
 - VectorWorks(RenderWorks), JW_CAD
- ・3D
 - Shade, Rhinoceros

3. 今後の課題

高岡キャンパスにおける情報教育の主な課題として、以下の3点が挙げられる。

(1)演習室端末の更新

現在の教育用情報システムは、2003(H15)年から稼働を続けており、今年度末が更新の時期に当たる。2010(H22)年度に更新が行われる五幅・杉谷キャンパスのシステム更新を視野に入れ、端末および必要なソフトウェアを整備することが必要である。

機器の整備にあたって、これまで基本的には全端末に同一のソフトウェアをインストールし、2つの演習室で集中的に授業を行ってきた。基本的にはこの体制を維持しながら、今後は高度な専門性を持った少人数を対象とした授業も増加することに配慮し、共通部分(総合情報基盤センター担当)と専門部分(学部担当)の役割分担を明確化する必要があると考えている。

(2)授業科目間の連携

芸術文化学部の創設に伴い、各授業科目の内容は基本的には担当教員が決定し授業を実施している。しかし、授業科目間での連絡・調整が十分とはいえないのが現状である。情報教育関連教員が参加し、相互に協議・情報交換を行う場を設けることによって、共通のソフトウェアを活用した授業の実施等の教育的効果を高めていく取り組みが求められている。

(3)情報教育支援体制の充実

現在、高岡キャンパスには情報ネットワークおよび教育用情報システムを管理する専任の職員がおらず、その業務は総合情報基盤センター(高岡)の教員と、学務課等の関連職員で実施しているが、その管理体制は十分ではない。人力的な問題もありその解決は難しいが、担当職員のスキル向上および全学的な見地からの管理の集中化、TAの導入等によって、管理負荷の軽減および情報教育支援体制の充実に図りたい。

今後とも学部内の関係部局と協調し、高岡キャンパスの学生および教職員にとって最適なコンピュータ利用環境の実現を目指していきたい。